

みずほCustomer Desk Report 2016/10/18 号 (As of 2016/10/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	104.21
	GBP/USD	AUD/USD				
TKY 9:00AM	104.04	1.0966	114.15	0.9903	1.2177	0.7596
SYD-NY High	104.40	1.1008	114.55	0.9907	1.2201	0.7633
SYD-NY Low	103.79	1.0964	114.05	0.9873	1.2136	0.7582
NY 5:00 PM	103.88	1.0999	114.27	0.9888	1.2182	0.7627
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.04/11.415	Δ25RR	1.648	Yen Call Over		
NY DOW	18,086.40	▲ 51.98	債券市場	日本2年債	-0.2670	-
NASDAQ	5,199.82	▲ 14.34		日本10年債	-0.0520	0.2bp
S&P	2,126.50	▲ 6.48		米国2年債	0.8147	▲2.0bp
日経平均	16,900.12	43.75		米国5年債	1.2539	▲3.3bp
TOPIX	1,352.56	5.37		米国10年債	1.7660	▲3.2bp
シカゴ日経先物	16,880	▲30.00		独10年債	0.0550	▲0.3bp
ロンドンFT	6,947.55	▲66.00		英10年債	1.1230	2.6bp
DAX	10,503.57	▲76.81		豪10年債	2.3070	4.4bp
ハンセン指数	23,037.54	▲195.77	為替市況	USD/CNH	6.7474	0.0098
上海総合	3,041.17	▲22.64		ドルインデックス	97.89	▲0.13
USDJPY 3M Vol	11.18	0.02%	商品市況	CRB指数	189.394	▲0.07
USDJPY 6M Vol	11.23	▲0.00%		NY金	1,256.600	1.10
EURJPY 3M Vol	11.58	0.15%		WTI	49.940	▲0.41
EURJPY 6M Vol	11.93	0.14%		Dubai Spot	48.38	▲1.55

東京	週明けのドル円は、前週末の堅調な米国経済指標を受け米年内利上げ期待が高まる中、シドニー時間に高値104.40を付け、東京時間は104.04レベルでオープン。仲値にかけては小幅上昇するも、中国人民元の対ドル基準値が6年ぶりに元安方向で設定されると中国経済の不透明感が意識される中で円買いが進み、一時103.93レベルまで値を下げた。その後は押し目買いからドル円は小幅買い戻され、104円台ちょうど近辺で小幅レンジ推移した後、結局104.18レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、104.18レベルでオープン。米金利上昇を横目に104.31まで買われるも、米10年債利回りが下落に転じ1.8%を割ると、ドル円も反落。結局104.13レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2175レベルでオープン。英政府がEUを離脱した後も単一市場へのアクセスを維持するために数十億ポンドの予算拠出を続ける案を検討しているとの英紙報道を受け1.2198まで上昇するも、独自動車連盟会長が「ハードブレグジット」が現実のものとなれば、英自動車生産の一部を移転すると示唆したことが嫌気されてか、上値は限定的。米通商代表が、対英通商協議について「英国がEUとの関係性について決着をつけない限り、真剣に討議することは不可能だ」と発言すると、1.2136まで下落し、1.2148レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0988レベルでオープン。欧州系大手銀が米国部門の縮小等を検討しているとの報道を背景に、欧州株は軟調推移するも、先週末にイレブンFRB議長が「高圧経済」政策を主張したことで債券市場がスティーピング。独10年債利回りが6月23日以来の水準まで上昇する中、9月のユーロ圏消費者物価指数改定値が、前月比+0.4%と、前月の+0.2%を上回ったことで、緩和観測が後退すると、ユーロドルは、1.10台を回復。1.1003まで上昇し、1.0994レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は104.13でNYオープン。朝方発表された10月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を大きく下回るとドル売りが強まり、103.92まで下落。その後発表された9月鉱工業生産(前月比)は予想同水準となるが、前回値が下方修正されたことや、米10年債利回り、株式市場も軟調な値動きとなったことでドル円は上値重く推移し、一時103.79まで下落。特段目新しい材料がない中、このレベルでは下げ渋り、ドル円は103.90まで値を戻すと103.88レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロドルは海外市場でじり高の推移が続き1.0994レベルでNYオープン。新規材料に欠ける中、1.0990から1.1008の狭い範囲での推移となり、1.0999レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高野・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月17日	09:30	日 黒田日銀総裁、全国支店長会議挨拶	-	-
	18:00	欧 HICP・確報値(前月比/前年比)	9月 0.4%/0.4%	0.4%/0.4%
	18:00	欧 コアCPI・確報値(前年比)	9月 0.8%	0.8%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	10月 -6.8	1.0
	22:15	米 鉱工業生産	9月 0.1%	0.1%
10月18日	01:15	米 フィッシャーFRB副議長、講演	-	-

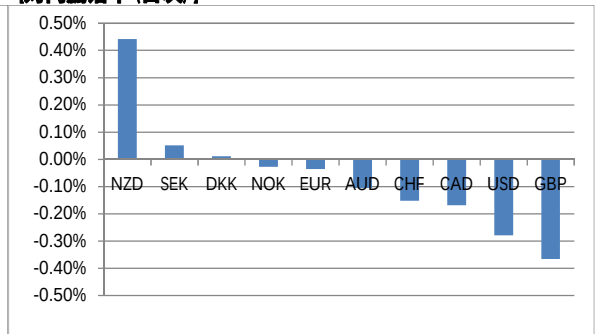
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月18日	09:30	豪 RBA議事録、公表	10/4分 -	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	9月 0.1%/0.9%	0.3%/0.6%
	17:30	英 CPIコア(前年比)	9月 1.4%	1.3%
	20:10	独 ショイブル財務相、講演	-	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	9月 0.3%/1.5%	0.2%/1.1%
	21:30	米 CPIコア(前月比/前年比)	9月 0.2%/2.3%	0.3%/2.3%
	23:00	米 NAHB住宅市場指数	10月 63	65

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.40-104.40	1.0950-1.1050	113.50-115.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円はじり安の展開。欧州時間に英独金利の上昇に連れ、米10年債利回りも1.8%台寄せとなると、ドル/円は104.31まで伸べ。しかし米金利が徐々に低下する動きや、発表された米10月NY連銀製造業景気指数が市場予想を大幅に下回ると、ドル円はじりじりと下落。その後もダウ平均株価や米10年国債利回り、原油先物価格の下落基調に連られる形でドル売り優勢の地合いとなる中、ドル/円は103.90付近でクローズした。本日のドル/円は方向感に欠ける展開を予想する。本日は米CPIの発表が予定されているが、既に年内利上げ観測が広がる中、相場を大きく動かす要因とはならなそうだ。19日(水)の米大統領選テレビ討論会と20日(木)のECB理事会も控える中、ドル円は動意に乏しい展開となる。